

桑木委員（民主県政会）

令和4年3月10日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）デジタル化による教員の業務効率化について

Heiwaネットの更新の時期を捉え、教育現場のデジタル化を進め、業務の効率化を図る上で、次期Heiwaネットをどのようなシステムにしようとしているのか、教育長に伺う。

（答）

現行のHeiwaネットは、授業等に関する情報を取り扱う学習系ネットワークと、児童・生徒の成績等に関する情報を取り扱う校務系ネットワークの二つで構成されており、セキュリティ確保の観点から、教員はそれぞれのネットワークに同一の端末からアクセスすることができず、教員の日常的なデジタル活用や業務の効率化につながりにくい面がございます。

このため、Heiwaネットの更新に当たっては、セキュリティを十分に確保しつつ、学習系・校務系ネットワークの両方に同一の端末でアクセスできる環境を整備することで、授業では、出欠席の管理や教材の共有・提示が容易になったり、会議等では、資料を紙ベースからデジタル表示に変更することが容易になるなど、様々な場面でデジタル機器がより有効に活用できるようになると考えております。

教育委員会といたしましては、こうした環境を構築していくことで、教員の日常的なデジタル機器の活用を一層進め、業務の効率化を図ってまいります。